

整形外科後期研修プログラム

I 概要と目標

当院は、日本整形外科学会研修指定病院となっており、学会専門医を修得するために必要な指定病院での3年間の研修を行えることとし、整形外科一般および外傷災害外科の分野を研修し整形外科医としての知識、技術、および人間性の完成を目指すものとする。

当院整形外科は岡山大学整形外科研修病院であり、同一施設での研修は2年と定められている。したがって、当院2年間の研修後は、備後地区関連病院を含む岡山大学整形外科関連病院もしくは岡山大学病院での研修に移行する。

II 整形外科の概要

当院は1次、2次救急病院として多くの急性期外傷災害外科患者の治療に当たる一方で、機能再建外科として慢性疾患の手術的治療も数多く行っている。

常勤医師 6名

病床数 53床

年間手術症例数約 1226件（2017年）

III 研修指導者と指導分野

廣岡 孝彦 上肢・肩関節外科、膝関節外科、脊椎外科

（香川医科大学 昭和63年卒）専門医資格：日本整形外科学会専門医、日本手外科学会専門医

藤井 淳一 救急外傷、四肢骨折、股・膝関節外科、脊椎外科

（鳥取大学 平成2年卒）専門医資格：日本整形外科学会専門医

迫間 巧将 関節外科 四肢骨折

（岡山大学 平成15年卒）専門医資格：日本整形外科学会専門医

IV 研修および指導方法

1. 後期研修医は原則単独で外来診療を行い、外傷患者、整形外科疾患患者の診察法、治療法を習得する。
2. 後期研修医は主治医として入院患者の診療にあたり、指導医からその評価を受ける。
3. 後期研修医は基本的な整形外科手術については指導医の指導のもとで執刀医として手術を行う。
4. 後期研修医は原則単独で当直・日直にあたり、また初期研修医がいる時はその指導に当たる。
5. 後期研修医は院内のカンファレンス、院内、院外の研修会、症例検討会に積極的に参加する。
6. 後期研修医は日本整形外科学会専門医修得に必要な学会発表1回以上および学術論文1編以上の作成を研修期間中に行う。
7. 詳細な習得内容は日本整形外科学会専門医の研修内容に準ずる。

V プログラム

1年目	2年目	3年目	4年目
尾道市民病院 ／関連病院	尾道市民病院 ／関連病院	関連病院 ／尾道市民病院	関連病院 ／尾道市民病院
整形外科一般研修・ 救急外傷に対する処置	整形外科一般研修	外傷、慢性疾患 (関節・脊椎)研修	外傷、慢性疾患 (関節・脊椎)研修

VI その他（研修施設等）

当院は日本整形外科学会研修指定病院であり、当院での研修は専門医修得に必要な研修施設での3年間の研修に含まれる。